

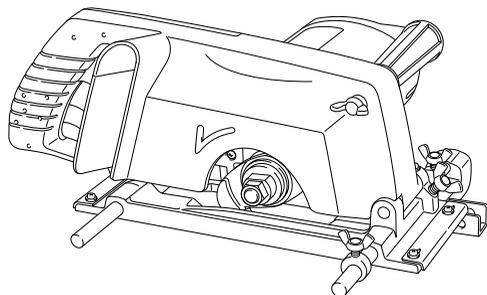
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

電気ミゾキリ

モデル 3501N



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**電気ミゾキリ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいで、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

| モデル | 3501N |
|-------------|--|
| 主要機能 | |
| 電動機 | 直巻整流子電動機 |
| 電圧 | 単相交流 100V |
| 電流 | 12A |
| 周波数 | 50-60Hz |
| 消費電力 | 1,160W |
| 回転数 | 6,500min ⁻¹ (回転 / 分) |
| 最大切削深さ | カッタ : 30mm マルノコ : 65mm |
| 切削幅 | 2.4 ~ 36mm |
| カッタ寸法 | 外径 φ 120mm × 内径 φ 15mm × 刃幅 2.4 ~ 36mm |
| 使用できるノコ刃の外径 | φ 178 ~ 190mm |
| 長さ | 365mm |
| 質量 | 8.8kg |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-17

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ミゾキリ安全上のご注意

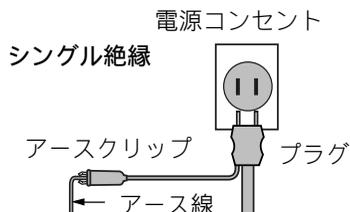
先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ミゾキリとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB123-2

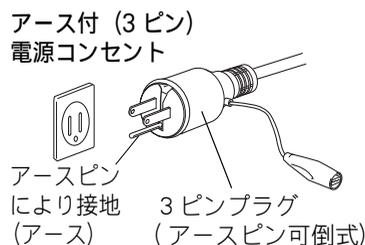
⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

- ・ 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- ・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）



- ・ 2極電源コンセントの場合 アースクリップをアース線に接続してください。
- ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。



- ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

※ 労働安全衛生規則 第 333 条・第 334 条
電気設備の技術基準 第 18 条・第 28 条・第 41 条

⚠ 警告

2. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 爆発の恐れがあります。
3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
6. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
7. 材料を手にとっての切削はしないでください。
 - ・ カッタに触れ、けがの原因になります。
8. 本体を万力などで保持して、カッタを上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
 - ・ カッタに手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
9. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・ 回転しているカッタに触れ、けがの原因になります。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、カッタや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ カッタに巻き込まれ、けがの原因になります。
13. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - ・ 刃物を破損させ、事故の原因になります。
14. 運転中のカッタにコードを接触させないでください。
 - ・ 電源ショートや断線・漏電などの事故の原因になります。

⚠ 注意

1. カッタや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. カッタの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - ・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用中は、機体の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・ カッタに触れ、けがの原因になります。
5. カッタの交換の際は、カッタ取付ボルトを確実に締め付けてください。
 - ・ ボルトがゆるむと、けがの原因になります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカッタに注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。

マルノコとして使用される場合は、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 安全カバー（保護カバー）は、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
2. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。また、刃底径が80mm以下のノコ刃は使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
4. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出ししろの3倍以上にしてください。
 - ・ このような台がないと、けがの原因になります。
5. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
7. ベンチスタンドを使用する場合は、スタンドを固定してください。また、接触予防装置を必ず取り付けてください。
 - ・ ベンチスタンドがぐらついたり、接触予防装置がないと、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
- 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、機体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。（ブレーキ付きのみ）
 - ・ 機体を落としたりし、けがの原因になります。
- 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
- 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

注

- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

| コードの太さ (導体公称断面積) | 銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ | | |
|---------------------|-----------------------|---------|----------|
| | ～ 5A | 5 ～ 10A | 10 ～ 15A |
| 0.75mm ² | 20m | — | — |
| 1.25mm ² | 30m | 15m | 10m |
| 2.00mm ² | 50m | 30m | 20m |

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品

カッタカバー取り付け用チョウボルト

カッタカバー

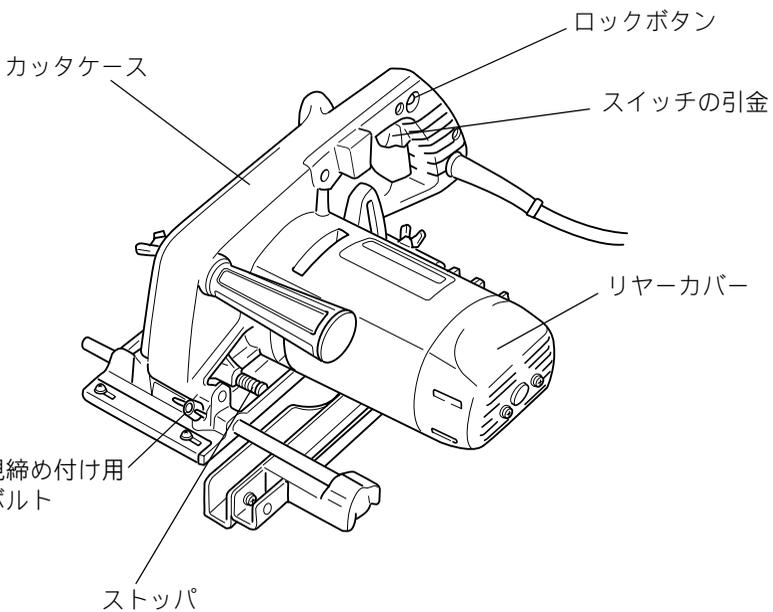
グリップ

平行定規

六角ナット

スケールプレート

スケールプレート固定用ネジ



各部の名称および標準付属品

標準付属品

- ・ 普通カッタ刃 120-21
(本機取り付け)
- ・ スパナ 19
- ・ スパナ 21
- ・ インナフランジ 56
(マルノコ用)
- ・ ネジ回し
- ・ 木箱
- ・ 合じゃくり定規
- ・ アウタフランジ 56
(マルノコ用)
- ・ フランジ 35
(7.5mm 以下のカッタ用)
- ・ 水砥石
- ・ マルノコ用定規

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 普通カッタ (外径 ϕ 120mm \times 内径 ϕ 15mm)

| 刃幅 (mm) | 部品番号 |
|---------|---------|
| 2.4 | A-22414 |
| 3.0 | A-22420 |
| 3.9 | A-22436 |
| 4.5 | A-22442 |
| 5.5 | A-22458 |
| 6.0 | A-22464 |
| 7.5 | A-22470 |
| 9.0 | A-22486 |
| 10.5 | A-22492 |
| 12.0 | A-22501 |
| 13.5 | A-22517 |
| 15.0 | A-22523 |
| 16.5 | A-22539 |
| 18.0 | A-22545 |
| 21.0 | A-22551 |
| 30.0 | A-22567 |
| 33.0 | A-22573 |
| 36.0 | A-22589 |

- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ) 部品番号 191686-2
- ・ マルノコスタンド 部品番号 JPA122144

使い方

カッタの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

カッタの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

カッタを取り付けるときは、本機に付いている矢印とカッタに付いている矢印の方向を合わせてください。

- ・ 矢印に合わせないと、回転方向に対しカッタが逆向きとなり、刃先を痛めたり、けがの原因になります。

カッタの着脱は付属のスパナ以外の工具は使わないでください。

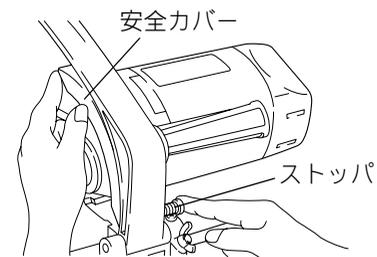
- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取り付け方

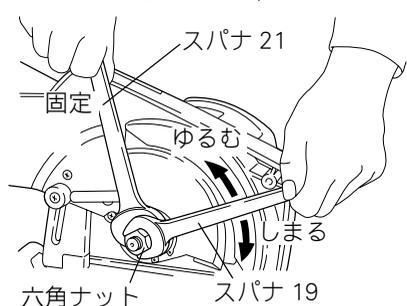
- ・ カッタカバー取り付け用チョウボルトをゆるめてカッタカバーをはずしてください。



- ・ 安全カバーを右方向に回し、ストッパを押して安全カバーを止めてください。

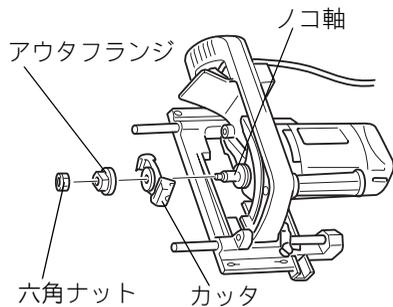


- ・ アウタフランジの切り欠け部にスパナ 21 をかけて固定し、スパナ 19 で六角ナットをゆるめてアウタフランジをはずしてください。

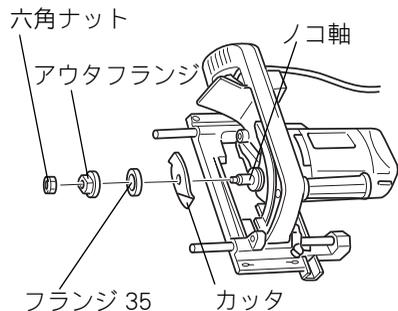


使い方

- ノコ軸にカッター→アウトフランジ→六角ナットの順に取り付け、2本のスパナでしっかり締め付けてください。



- 刃幅が7.5mm以下のカッターを使用される場合は、フランジ 35 をカッターとアウトフランジの間に入れてください。



- カッターカバーを取り付け、カッターカバー取り付け用チョウボルトを締め付けてください。



注

- カッターを取り付けるときは、ノコ軸やフランジなどについた切り屑などをよく拭き取って締め付けてください。

取りはずし方

- 取り付け方の逆の要領で行ってください。

使い方

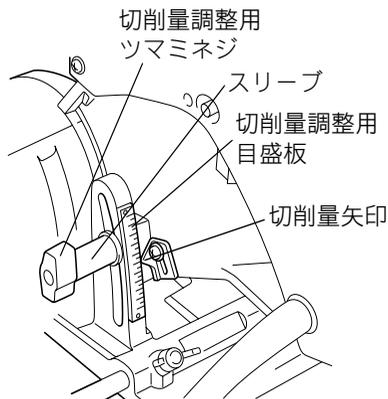
切り込み深さの調整

⚠ 警告

切り込み深さ調整後は必ず切削量調整用ツマミネジをしっかりと締め付けてください。

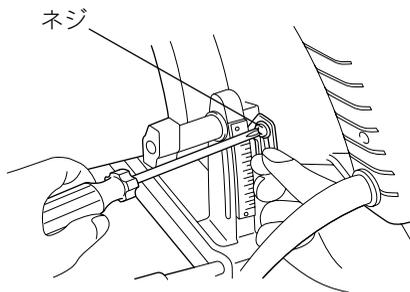
- 締め付けが不十分なままご使用になりますと、けがの原因になります。

- 切削量調整用ツマミネジをゆるめますと、ベースが上下に移動しますので切削量調整用目盛板の矢印をお望みの位置に合わせ、切削量調整用ツマミネジをしっかりと締め付けてください。
- 切削量調整用目盛板の1目盛は3mmです。



0点調整

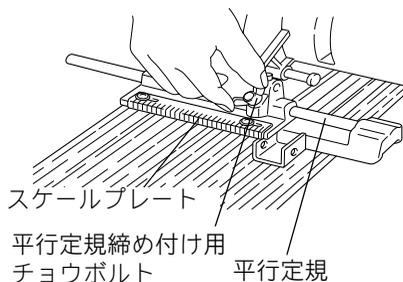
- 切削量調整用ツマミネジで、切削量調整用目盛板の0点と矢印を合わせてください。
カッタを手で回しながら刃先とベース底面が一致しているか確認してください。
ベース底面より刃先が出ていたり、ひっこんでいる時は、切削量調整用ツマミネジをゆるめ、ベース底面とカッタの刃先が一致する所で固定してください。
矢印を固定しているネジをゆるめ、切削量調整用目盛板の0点に矢印を合わせ、ネジを固定してください。



使い方

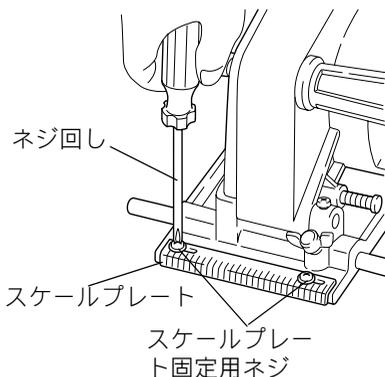
切削位置の調整

- ・ ベースの前後にある平行定規締め付け用チョウボルトをゆるめ、平行定規を動かしてスケールプレートの0点よりお望みの寸法に合わせてからチョウボルトをしっかりと締め付けてください。
- ・ スケールプレートの1目盛は3mmです。



スケールプレートの調整

- ・ 0点の調整は、平行定規の側面をカッタの内側面に合わせて固定し、ベースの前後にあるスケールプレート固定用ネジをゆるめ、スケールプレートの0点を平行定規の側面に合わせてください。



スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金をいっばいに引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離してください。

使い方

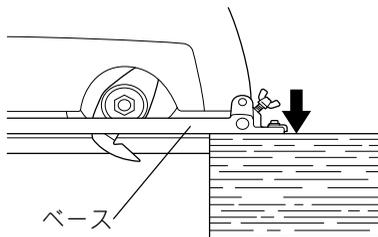
削り方

⚠ 注意

作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。

- ・ カッタが回転し反発が生じ、けがの原因になります。

- ・ 材料の上にベースの先端をのせ、平行定規を材料の側面に沿わせてカッタが材料に触れない状態でスイッチを入れ、回転が完全に上昇し安定してからベースと材料を密着させて、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



注

- ・ 削り始めや、削り終わりに本機が傾きますと材料の端を深く削ってしまうことがありますので、ご注意ください。

溝を掘る場合

⚠ 注意

急激に切り込みますと反発を生じますので徐々に切り込んでください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 切り込み深さの調整をした後、ベースの先端を材料にあて、後端を持ち上げカッタを削り始める位置に合わせ、回転が安定したら本機の後端をゆっくり下げて切り込んでください。

使い方

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本機についている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

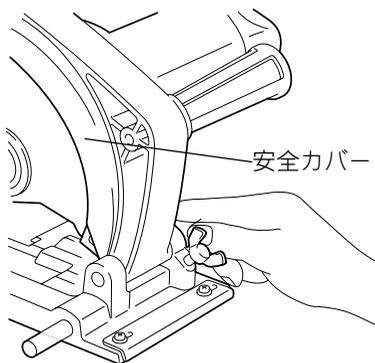
- ・ 矢印に合わせないとノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を痛めたりけがの原因になります。

ノコ刃の着脱は付属のスパナ以外の工具は使わないでください。

- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

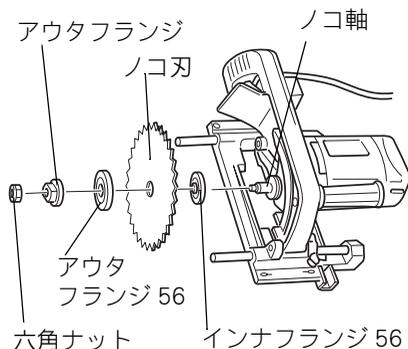
取り付け方

- ・ カッタカバーを取りはずし、スパナを使って六角ナット、カッタ、アウトフランジを取りはずしてください。
(「カッタの取り付け・取りはずし方」参照)
- ・ 安全カバーがストッパで止めたままの状態になっていますので、安全カバーの外周部を少し右方向に回してストッパで止まっているのをはずしてください。

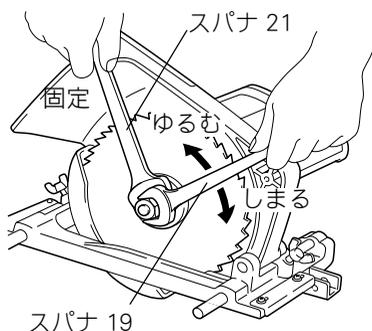


使い方

- 切削量調整用のツマミネジをはずし、ベースを下げてからノコ軸にインナフランジ 56 →ノコ刃→アウトフランジ 56 →アウトフランジ→六角ナットの順に取り付けてください。



- 切削量調整用のツマミネジを取り付けてベースを固定し、2本のスパナでしっかり締め付けてください。



- カッタカバーを取り付け、カッタカバー取り付け用チョウボルトを締め付けてください。



注

- ノコ刃を取り付けた状態では、安全カバーをストッパで止めることができないようになっています。

取りはずし方

- 取り付け方の逆の要領で行ってください。

別販売品の使い方

合じゃくり定規

- ・ 角材の角部を削り取る場合に使用してください。
- ・ 合じゃくり定規は平行定規にネジ止めして使用してください。
- ・ カッタの右端がケガキ線と一致するように合じゃくり定規を固定してください。

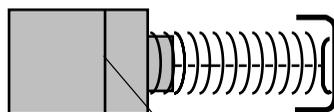
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

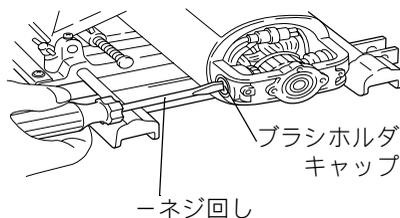
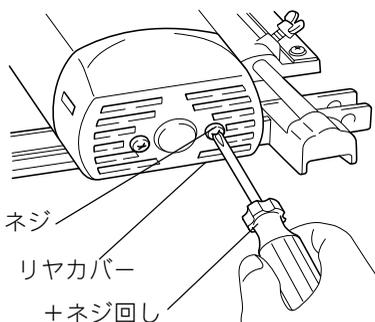
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩擦線まで摩擦したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ +ネジ回しでネジを緩めリヤカバーを取りはずしてください。
- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩擦したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっています。取り替える場合は、必ず両側とも同時に行ってください。



限界摩擦線



保守・点検について

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 |
|----------|------------------|---------|------------------|----------|------------------|
| 札幌支店 | (011) (783) 8141 | 東京支店 | (03) (3816) 1141 | 大阪支店 | (06) (6351) 8771 |
| 札幌営業所 | (011) (783) 8141 | 東京営業所 | (03) (3816) 1141 | 大阪営業所 | (06) (6351) 8771 |
| 旭川営業所 | (0166) (29) 0960 | 中野営業所 | (03) (3337) 8431 | 東大阪営業所 | (06) (6746) 7531 |
| 釧路営業所 | (0154) (37) 4849 | 足立営業所 | (03) (3899) 5855 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |
| 函館営業所 | (0138) (49) 9273 | 大田営業所 | (03) (3763) 7553 | 南大阪営業所 | (0725) (46) 6611 |
| 苫小牧営業所 | (0144) (68) 2100 | 江戸川営業所 | (03) (3653) 5171 | 奈良営業所 | (0742) (61) 6484 |
| 帯広営業所 | (0155) (36) 3833 | 多摩営業所 | (042) (384) 8411 | 橿原営業所 | (0744) (22) 2061 |
| 北見営業所 | (0157) (26) 9011 | 立川営業所 | (042) (542) 1201 | 和歌山営業所 | (073) (471) 4585 |
| 仙台支店 | (022) (284) 3201 | 横浜支店 | (045) (472) 4711 | 田辺営業所 | (0739) (25) 1027 |
| 仙台営業所 | (022) (284) 3201 | 横浜営業所 | (045) (472) 4711 | 沖繩営業所 | (098) (874) 1222 |
| 古川営業所 | (0229) (24) 0698 | 川崎営業所 | (044) (811) 6167 | 兵庫支店 | (0794) (82) 7411 |
| 青森営業所 | (017) (764) 4466 | 平塚営業所 | (0463) (54) 3914 | 三木営業所 | (0794) (82) 7411 |
| 八戸営業所 | (0178) (43) 3321 | 相模原営業所 | (042) (757) 2501 | 尼崎営業所 | (06) (6437) 3660 |
| 盛岡営業所 | (019) (635) 6221 | 湘南営業所 | (0466) (87) 4001 | 神戸営業所 | (078) (672) 6121 |
| 水沢営業所 | (0197) (22) 5101 | 静岡支店 | (054) (281) 1555 | 姫路営業所 | (079) (281) 0204 |
| 郡山営業所 | (024) (932) 0218 | 静岡営業所 | (054) (281) 1555 | 広島支店 | (082) (293) 2231 |
| いわき営業所 | (0246) (23) 6061 | 沼津営業所 | (055) (923) 7811 | 広島営業所 | (082) (293) 2231 |
| 福島営業所 | (0243) (22) 1204 | 浜松営業所 | (053) (464) 3016 | 福山営業所 | (084) (923) 0960 |
| 新潟支店 | (025) (247) 5356 | 甲府営業所 | (055) (276) 7212 | 三原営業所 | (0848) (64) 4850 |
| 新潟営業所 | (025) (247) 5356 | 金沢支店 | (076) (249) 5701 | 岡山営業所 | (086) (243) 4723 |
| 長岡営業所 | (0258) (30) 5530 | 金沢営業所 | (076) (249) 5701 | 宇部営業所 | (0836) (31) 4345 |
| 山形営業所 | (023) (643) 5225 | 七尾営業所 | (0767) (52) 3533 | 徳山営業所 | (0834) (21) 5583 |
| 酒田営業所 | (0234) (26) 3551 | 富山営業所 | (076) (451) 6260 | 鳥取営業所 | (0857) (28) 5761 |
| 秋田営業所 | (018) (863) 5205 | 高岡営業所 | (0766) (21) 3177 | 松江営業所 | (0852) (21) 0538 |
| 宇都宮支店 | (028) (634) 5295 | 福井営業所 | (0776) (35) 1911 | 高松支店 | (087) (867) 6411 |
| 宇都宮営業所 | (028) (634) 5295 | 岐阜支店 | (058) (274) 1315 | 高松営業所 | (087) (867) 6411 |
| 小山営業所 | (0285) (25) 5559 | 岐阜営業所 | (058) (274) 1315 | 徳島営業所 | (088) (626) 0555 |
| 水戸営業所 | (029) (248) 2033 | 多治見営業所 | (0572) (22) 4921 | 松山営業所 | (089) (903) 7666 |
| 土浦営業所 | (029) (821) 6086 | 松本営業所 | (0263) (85) 4751 | 宇和島営業所 | (0895) (22) 3785 |
| 関東物流センター | (048) (771) 3451 | 長野営業所 | (026) (225) 1022 | 高知営業所 | (088) (884) 7811 |
| 埼玉支店 | (048) (777) 4801 | 上田営業所 | (0268) (22) 6362 | 福岡支店 | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所 | (048) (777) 4801 | 飯田営業所 | (0265) (24) 1636 | 福岡営業所 | (092) (411) 9201 |
| 川越営業所 | (049) (222) 2512 | 名古屋支店 | (052) (419) 0561 | 福岡営業所 | (093) (551) 3481 |
| 熊谷営業所 | (048) (521) 4647 | 名古屋営業所 | (052) (419) 0561 | 飯塚営業所 | (0948) (26) 3361 |
| 越谷営業所 | (048) (976) 6155 | 一宮営業所 | (0586) (75) 5382 | 久留米営業所 | (0942) (43) 2441 |
| 前橋営業所 | (027) (232) 5575 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 佐賀営業所 | (0952) (30) 6603 |
| 高崎営業所 | (027) (365) 3688 | 知多営業所 | (0569) (48) 8470 | 長崎営業所 | (095) (882) 6112 |
| 岡毛営業所 | (0276) (46) 7661 | 岡崎営業所 | (0564) (22) 2443 | 佐世保営業所 | (0956) (33) 4991 |
| 千葉支店 | (043) (231) 5521 | 豊橋営業所 | (0532) (46) 9117 | 熊本支店 | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所 | (043) (231) 5521 | 四日市営業所 | (059) (351) 0727 | 熊本営業所 | (096) (389) 4300 |
| 市川営業所 | (047) (328) 1554 | 津営業所 | (059) (232) 2446 | 八代営業所 | (0965) (43) 1000 |
| 成田営業所 | (0476) (73) 8101 | 伊勢営業所 | (0596) (36) 3210 | 大分営業所 | (097) (567) 3320 |
| 木更津営業所 | (0438) (23) 2908 | 京都支店 | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所 | (0985) (26) 1236 |
| 柏営業所 | (04) (7175) 0411 | 京都営業所 | (075) (621) 1135 | 鹿児島営業所 | (099) (267) 5234 |
| | | 福知山営業所 | (0773) (23) 7733 | 沖繩営業所 | 大阪支店の欄をご覧ください。 |
| | | 大津営業所 | (077) (545) 5594 | | |
| | | 彦根営業所 | (0749) (22) 6184 | | |

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881013J8